



旧荘家住宅座敷棟



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	きゅうしょうけじゅうたくざしきとう
所在地	真庭市下皆部
登録年月日	令和4年2月17日
解説	<p>旧荘家住宅は、元禄11(1698)年に下皆部村に移り住んだ荘家の元居宅である。荘家は、江戸時代を通じて下皆部村の庄屋を勤めた。伯雲(はくうん)往来(おうらい)沿いの入母屋造り棧瓦葺(さんがわらぶ)き座敷棟で、残された棟札から、文政8(1825)年に建築されたことがわかっている。</p> <p>内部は土間に二列四室を並べ、東庭を臨んで続き座敷とする。二階は背面側に続き座敷を配する。外壁は大壁(おおかべ)造り漆喰塗りで重厚にみせ、街道沿いの景観をつくる。</p>
アクセス方法	<p>車: 中国自動車道北房ICより国道313号線・県道58号線西進(約6分)</p> <p>バス: 備中高梁駅より備北バス「皆部」行き「皆部」下車 バス停より徒歩4分</p>
公開状況	<p>飲食店として使用しているため、内部は利用客のみ公開。</p> <p>問合せ先: 0866-52-2600(ほたる庵)</p>
設備	<p>駐車場  トイレ </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	旧荘家住宅座敷棟
よみかた	きゅうしょうけじゅうたくざしきとう
しょざいち (所在地)	真庭市下皆部
とうろくしたひ (登録した日)	令和4年2月17日
せつめい	旧荘家住宅は、元禄11(1698)年に下皆部村に移り住んだ荘家(江戸時代の庄屋をしていました)の元居宅です。大きな通りに面した建物で、棧瓦(さんがわら)という瓦を使って屋根がつくられている座敷棟で、残されていた棟札から、文政8(1825)年に建築されたことがわかっています。